

そうめん食べて暑さを吹き飛ばせ

待ちに待った夏の納涼イベント 流しそうめん大会



デイサービス響の納涼流しそうめん大会がこのほどデイフロアで開催されました。今年は酷暑が続いていることもあり、ご利用者たちは、流れてくるそうめんを夢中で食べるなど、暑さを忘れて、真夏のイベントを楽しんでいました。

お箸がとまらない

恒例となった納涼流しそうめん大会。ご利用者たちも、待ちに待った夏のイベントとあって、特製流し台の周りに陣取りやる気満々です。

茹でたてのそうめんを氷で冷やし、みかんと一緒に流し始めると、ご利用者たちは、我を忘れてそうめんすくに夢中。すくっては食べすくっては食べる、さながら会場は“そうめんバトル”の様相に。普段は少食のご利用者も、16人分の山盛りそうめんをペロリと平らげるなど、夏の暑さを吹き飛ばす、お腹いっぱいの日を過ごしました。

すくっては食べる
すくっては食べる



冷たい、うまい、おかわり

暑いそうめんバトルを展開 十六人前をペロリ

全盲のピアノ伴奏者の演奏で懐かしい歌を合唱



重度身体障害者施設「いぬくら」の音楽隊が慰問

デイサービス響にこのほど、音楽隊が慰問にやってきました。訪れたのは宮前区にある重度身体障害者施設「いぬくら」のメンバーたち3人です。演奏会では、全盲のピアノ伴奏者のエレクトーンに合わせ、「青い山脈」や「故郷」、「あこがれのハワイ航路」など懐かしい唱歌や歌謡曲10曲を合唱しました。ご利用者たちは、音楽隊の熱い演奏にまけじと、大きな声で歌っていました。

ひびき通信

平成30年
8月版

グループホーム響で運営推進会議 「熱中症の予防と対策」をテーマ意見交換

グループホーム響の運営推進会議がこのほど当センターで開催されました。この会議は、ご家族や地域住民の方々との情報を共有しサービスの改善に結びつけるのを目的に隔

月で開催されています。管理者から入居者九名の様子が報告されたあと、熱中症の予防と対策について、チェックリストを用いて意見を交換しました。

ひびき通信は、在宅サポートセンター生田が発行する月刊情報紙です。

発行日：2018年8月1日

発行所：日本ケア創造株式会社

発行者：岸 忠宏

住所：川崎市多摩区栗谷 4-6-13

介護のことなら在宅サポートセンター生田へ

デイサービス響

グループホーム響

居宅介護支援事業所 響

宅老所「ほっと生田」